

別紙様式 4

上益城郡教科等研究会（中学校美術部会） 令和3年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』授業づくり

2 研究経過

第1回			第2回			第3回		
期日	人数	場所	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6 / 7	32	滝尾 小学校	10 / 29	広安西 小学校	上野沙耶加 教諭	1 / 27	甲佐 中学校	片岡佳奈子 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

中学校美術部会では、小学校図画工作部会と連携して「みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』授業づくり」をテーマに研究を進めている。今年度も昨年度の研究内容を深めつつ、次年度行われる県大会へとつなげる研究を小学校・中学校が協力して行った。

研究の視点は以下の通りである。

- 1 児童生徒が自信を持って制作に取り組める題材の工夫
- 2 児童生徒が自信を持って制作に取り組める授業展開の工夫
- 3 自分の思いを表現できる、自由に言える人的環境や学習空間づくり

第3回研修では、3つの視点を取り入れながら授業が行われ、協働学習で意欲的に表現活動に臨む生徒の姿が見られた。ビデオでの参観となったが、提案された構想案について小中の先生方から意見をいただき、意見交換や小・中学校それぞれの立場では気がつかなかった新しい視点での授業づくりが検討されることにとっても大きな意義を感じることができた。

(2) 成果と課題

○成果

- ・第1回の研修では、次年度の県大会に向けて研究の視点などの共有を全体で行うことができた。県大会に向けた授業づくりについて、互いの実践を交えながら題材設定や授業展開の工夫について協議を深めることができた。
- ・第3回の研修では、授業の様子をDVDで配付し、部会員の先生方から感想や助言をいただき、次年度へ向けての展望を持つことができた。また、タブレットを活用して授業が行われ、互いの作品の共有が容易になり、同時に複数の生徒が鑑賞することができ、他者との対話的な学びも深まった。

○課題

- ・今年度も、研修の短縮や中止など例年とは違った年であった。授業作品などの交流もできず、互いの実践を知らせたり学んだりする機会がほぼなかった。次年度は互いの学校で取り組む題材について研究していきたい。

4 実践事例

(1) 授業の概要

本授業は「絵文字」の導入で、生徒の興味・関心を高めるための多くの工夫がされた授業である。生徒にとっての絵文字とは普段スマートフォンで使用している顔文字などがそれに当たるが、本題材では選んだ漢字一部を絵に変え、漢字の意味や形から自由に発想を広げ、自分の生活体験と結びつけて形や配色等の表現の構想を練るものである。個人制作の前に、グループ活動を通して主体的・対話的な活動が展開された。

(2) 学習構想案

題材名	なるほど！な絵文字をつくらう		
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫してデザインする。 ・デザインされた文字を鑑賞して、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ①文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解する。 ②ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもってあらわす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出し、わかりやすさと美しさとの調和を考え、表現の構想を練る。 ②デザインされた文字から、伝達の効果と美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとする。 ②楽しく文字に込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
題材終了時の生徒の姿（題材のゴールの姿・期待される姿）			
伝えたい内容に合わせて自分の生活体験と結びつけて形や配色等の表現の構想を練り、分かりやすさと美しさとの調和を考え表現方法を追求して表現しようとする生徒。			
題材を通した課題（題材の中心的な課題）		本題材で働かせる見方・感じ方	
伝える相手を意識し、なるほど！と思える絵文字をつくらう。		感性や創造力を働かせ、文字の形や色、構成などが見る人に与える効果等の造形的な視点について考え、自分のあらわしたいイメージを相手に伝えるために表現する意味や価値をつくりだすこと。	
指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時 1 / 10）			
過程	時間	学習活動（問いを設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
鑑賞 発想 構想	1 本時	○絵文字の参考作品を鑑賞したり、絵文字のアイデアを考えたりする活動を通して、文字の形と絵の組み合わせを工夫することへの意欲を高める。	【知①】（観察）【態①】（観察） ★○造形的な視点をもとに、参考作品の工夫点に気づき、作者の意図について感じ取っている。 【思①】（ワークシート・発言） ★○文字から連想される言葉を考え、ワークシートに書き出している。
発想 構想	2	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えたい内容をもとに主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。 ○文字の形や色、構成などが人に与える効果について考え、構想を練る。 ○アイデアスケッチをグループで見せ合い、自分のアイデアが他者にうまく伝わるかを確かめ、構想の練り直しをする。 	【思②】（ワークシート） ○絵文字にしたい文字を選び、文字からイメージする色やものを言葉で書き出している。 【思③】 ○文字から想像する場面を考え、アイデアスケッチと言葉で表現している。
知識 技能	6	<ul style="list-style-type: none"> ○制作順序について理解する。 ○決定したデザインを基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって創造的に表す。 	【態②】（観察） ○混色や水分を調節してイメージした色をつくらうとするなど、自分の表現意図に合わせて工夫しようとしている。 【知②】（作品・観察） ○ポスターカラーの特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現技法を工夫するなど

			して創造的に表現している。
鑑賞	1	○自己の作品について説明をし、意図や工夫について互いに発表し合う。友人の作品から感じ取ったよさや美しさについて感想を書く。	★【思④】（観察・ワークシート） ○自分の感じ取ったことや気づいたこと、考えたことなどについて説明したり書き記したりして見方や感じ方を広げている。 ★【態③】（観察・ワークシート） ○作者の表現の意図や工夫などに関心をもっている。

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）		
中学校学習指導要領「A表現」（1）イ（イ），（2）ア（ア）（イ） 「B鑑賞」（1）ア（イ） 「共通事項」ア，イ		
教材・題材の価値		
本題材は、文字と絵を結びつけてなるほど！と思える絵文字をデザインする学習内容である。漢字の形や意味などから発想を広げ、伝えたい内容や思いを形や色彩などを工夫し分かりやすさと美しさとの調和を考えて表現することを通して、発想や構想をする楽しさや価値を見だし、作品を客観的な視点で見ることで伝達の効果や美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げることができる題材である。		
本題材における系統（横軸を当該学年での多領域とのつながり，横軸を他学年での同領域のつながり）		
1年「見つけ、感じ取り、描く」 身近なものを見つめ、感じ取った特徴を材料や用具を工夫して描く。	1年「自然の形や色見つけて」 野菜の形や色を感じ取り、粘土で実物に迫る本物らしさをあらわす。	1年「楽しく伝える文字のデザイン」 伝えたい内容を考え、文字の形とその意味を表す絵をうまく組み合わせて、絵文字をつくる。

3 指導に当たっての留意点

- 「なるほど！」と思える絵文字の仕掛けやわかりやすさ、見やすさ、文字の意味と絵の整合性など、視点をもって参考作品を鑑賞する。
- マッピングをして発想した言葉やイメージを書き出し、頭の中で思い描いたことが目に見える形で整理され、それらが組み合わさることで新しい発想が生まれるきっかけとなるようにする。
- 色がもたらす感情や効果など既習事項の再確認を行う。
- 発想がなかなか広がらない生徒に対しては、友だちとの話し合いの中で他者の意見を参考にさせるなどして、構想しやすくする。

4 本時の学習

(1) 目標 絵文字のアイデアを考えることを通して、文字の形や色、構成などが見る人に与える効果を感じ取り、絵文字で大切な要素は何か考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	<p>1 絵文字の作品を鑑賞する。 ◇文字と絵が組み合わせるとわかりやすいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【本時の目標 (めあて)】 絵文字で大切な要素は何か考えることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 漢字の意味や形から発想し、伝えたいことが伝わる絵文字のデザインを考える。</p> </div>	<p>○「蛸」の一部を変化させた絵文字を鑑賞し、文字と絵の結びつきとわかりやすさについて考える。</p> <p>○絵文字の作品を鑑賞し、「なるほど」と思える文字と絵の結びつきのおもしろさやよさを味わう。</p> <p>○参考作品から絵文字で大切な要素について考える。</p>
展開	30分	<p>2 季節を表す漢字から連想される言葉を書き出す。 ◇春→暖かい、桜、入学式、チョウチョ ◇夏→スイカ、海、ひまわり、暑い、入道雲 ◇秋→いちょう、栗、赤い、落ち葉 ◇冬→雪だるま、寒い、スキー、こたつ など</p> <p>3 漢字から絵文字をデザインする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 対話的な学びから絵文字をデザインする活動を通して、形や色彩、構成を考えながら、よりわかりやすく美しいものを目指</p> </div> <p>4 各班で考えたデザインを発表する。 絵文字で大切な要素についても発表する。</p>	<p>○季節を表す漢字から連想される言葉を個人で2分間書き出し、その後班になって2分間書き出すことでアイデアのもととなる言葉を増やしていく。</p> <p>○出てきた言葉を共有し合い、自分では思いつかなかった言葉に共感したり、新たなアイデアを思いついたりできるようにする。</p> <p>○出てきた言葉から伝えたい内容を考え、絵と文字を組み合わせる表現する。</p> <p>○伝える内容について、生徒の生活体験の中から見つけさせ、文字の形と絵を結びつけて構成を考える。</p> <p>○対話的な学びから、自分の気づかなかったよさや表現の意図、創造的な工夫などを発見する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体の評価規準】 思① ○文字から連想される言葉を考え、ワークシートに書き出している。 (ワークシート・発言)</p> </div> <p>【到達していない生徒への手立て】 ○友人の考えを聞くことで、様々な考えがあることを知り、見方や感じ方を深広げる。 ○デザインする内容について考えていることを話し合わせて他者の意見を参考にさせるなどして、発想しやすくする。</p>
終末	10分	<p>5 本時の学習を振り返り、次時から絵文字にする漢字を選び、アイデアスケッチを確認する。本時の感想を書く。 ◇絵文字の発想の仕方が分かった。</p>	<p>○本時の学習を通して感じたことや考えたことについて自分の考えをまとめる。</p>